

人は恐怖に目を覺まし

あれは火だ

あれは火だ

………火は消えぬ

擴がるばかり

鶏も聲をひそめて

火の廻り はげしい踊り

## 愛 情

不吉の鳥の翼ひろごりて

荒寥の野に愛情の光矢はゞ

我は永遠の影に住まなむと思へど

思へば我も亦若き人の子にはあらずや

これは東の間の青春の横顔にはあらずや

今は此の影に泣けよ只泣けよ

何時の日にか光ほのく涙ほのく

思ひ起せや幼き日の母の柔かき膝

あゝ今は只まさぐれや汝が体温